

Hello! FUJISEI

No.90

喫煙が健康に良くないということは分かっていますが、値上げされても、喫煙できる場所が少なくなっても、愛煙者にとっては、愛煙家にとって禁煙のハードルは高いようですが、喫煙率は減少傾向となっています。喫煙は、さまざまながんの原因の中で、予防可能な最大の原因です。

厚生労働省の「平成22年国民健康・栄養調査結果の概要」によると、現在習慣的に喫煙している人の割合は、男性は32.2%、女性は8.4%で、前年に比べて男女とも減少しました。年代別にみると、最も高いのは男性は40歳代42.4%で、女性は30歳代14.2%でした。次いで高いのは、男性では30歳代の42.1%、女性では40歳代の13.6%となっています。

※現在習慣的に喫煙している人：これまで合計100本以上または6か月以上たばこを吸っている(吸っていた)人のうち、「この1か月間に毎日または時々たばこを吸っている」と回答した人
平成15年からの年次推移

健康に良くないと分かっているけど…

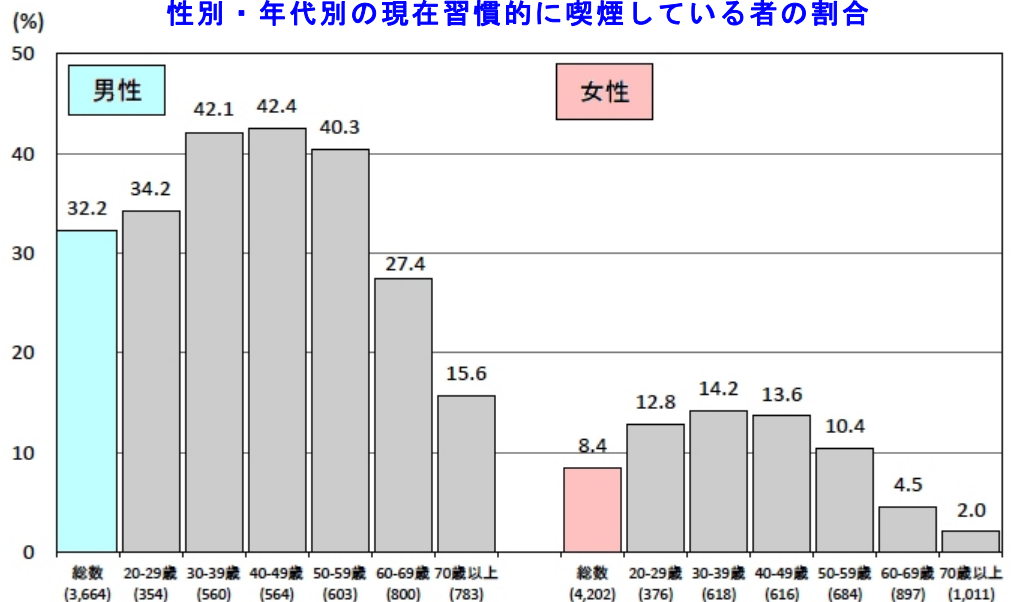
喫煙率は男性32.2% 女性8.4%、共に減少

をみると、8年間で男性は46.8%から32.2%、女性は11.3%が8.4%と減少しています。

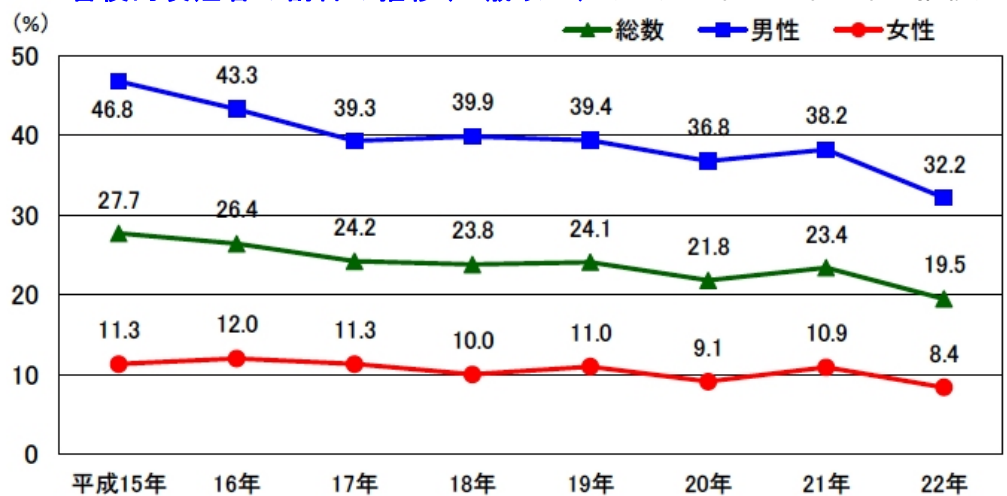
1日に21本以上吸う人の割合は、男性7.1%、女性6.9%で、前年に比

べ男性は減少し、女性は横ばいでした。たばこをやめたいと思う人は、男性35.9%、女性43.6%で、前年に比べ男性で4.2%、女性で2.0%多くなっています。

性別・年代別の現在習慣的に喫煙している者の割合



習慣的喫煙者の割合の推移(20歳以上)(平成15年~22年の年次推移)



厚生労働省「平成22年国民健康・栄養調査結果の概要」より